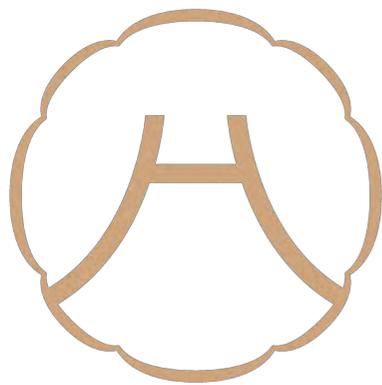


令和6年度：活動報告

さとのわフードファクトリー 活動報告について

地域活性化起業人(株式会社Hinoki) 藤田 直樹



Hinoki



株式会社Hinoki代表取締役 藤田直樹。1989年生まれ35歳。静岡出身。
17歳で高校中退後、飲食店、工場勤務、鳶職などを経験し、20歳で料理の道を志す
京都、宝塚、静岡で5年間修業し上京。洋食レストランなどで働くが
腰の怪我で料理の道を断念する。

ファッションのイベントを通じてファッション誌の編集者になったが
食への思い断ちがたく2019年株式会社Hinokiを設立。
理想の調味料を追求しています。

活動内容

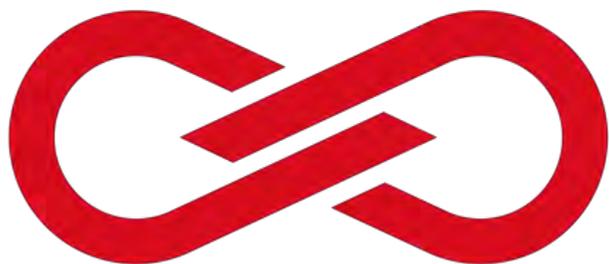
起業人業務 さとのわフードファクトリーの運営支援

+

たかやま振興公社委託業務 さとのわかフェの運営支援



- 高山村の特産物を活かした商品開発
- 加工、調理の技術指導
- 農産物、加工品の販路開拓
- 農産物の高付加価値化
- 村外に向けての営業およびPR活動
- イベント企画など



OMOTENASHI
SELECTION

おもてなしセレクション

2024

金賞



おもてなしセレクションにて金賞を受賞しました。

生産者さん、開発製造に携わってくださったみなさんのお陰でこのような賞を獲得できとても光栄に思います。ありがとうございました。

今後について



特定原材料8品目・動物性原材料不使用に特化したお菓子作りをスタートしました。
手土産はもちろん、高山村の銘菓になれるようなお菓子開発を目指していきます。

最後に

今回のスピーチは、5分以内という限られた時間の中で行いましたが
起業人としての任期も同じく時間が限られたものです。

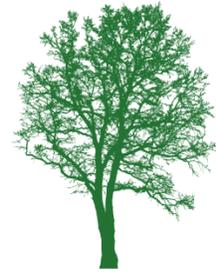
だからこそ

「選択と集中」 を大切にし、業務に取り組んでいきたいと考えています。

また、仕事とは単に上下関係や肩書きで決まるものではなく
「役割」 だと思っています。

それぞれの立場や責任を理解しながら

起業人としての役割を果たし、情熱を持って、時には歯を食いしばり
高山村のさらなる発展に貢献できるよう頑張ります。



地域活性化起業人 活動報告会



高山村の農産物や
農業の魅力を伝えたい

高山村の魅力を伝えたい

研修支援

新規就農を目指すかたの研修支援
作付けサポート、トライアルファームの
運営サポート

活用支援

トライアルファームで収穫した野菜をつ
かって、さとのわカフェで活用サポート
収穫体験といったイベント企画

直売所で情報発信

紙媒体やWEB媒体を活用して、
高山村の野菜の魅力を伝えていきます



高山村の魅力を伝えたい

農業体験実施

農家さんの畑におうかがいし、
季節野菜の収穫、簡単な作業を体験

高山村の農業紹介とプチ体験

15日程 300名弱の参加

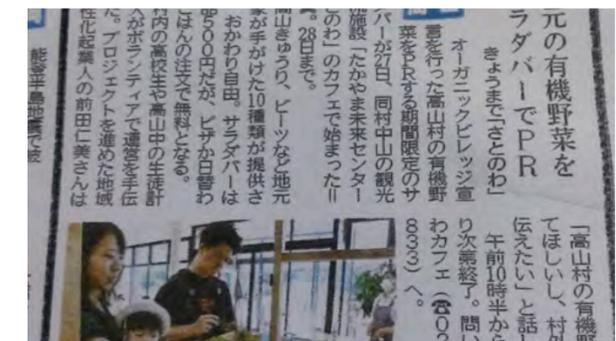


高山村の魅力を伝えたい

サラダバー開催

高山村の有機野菜、安心安全コーナーの野菜を使って、夏野菜サラダバーを実施

2024年7月27日（土）28日（日）
さとのわカフェ



令和6年度 活動報告

林 祐太郎 / 地域活性化起業人



アドベンチャーウィークエンド高山村実行委員会
一般社団法人アーモンド研究会

01

自己紹介

名前	林 祐太郎
在籍	株式会社 アグリメディア
期間	2022年4月～2025年3月
所属	地域振興課



集客力のある 独自コンテンツ育成

高山村は周辺観光地に囲まれており、通過地点となってしまうがちである。来村する「目的」となりえ、村の資源を活用できるコンテンツを育成する。

例：農業体験、スポーツイベント



新たな産業の育成

「地域活性化起業人」の名の通り、地域を活性化しうる起業のできる事業の検討。域内のニーズとアセットのマッチングを目指した。

例：地域商社活動、アーモンド実証



地域における 自走体制の確立

“地域に根付かせる”ことを目標とし、地域の団体や周辺で支援いただける「仲間」を増やした。外部人員だけではなく、村民が役割を担える体制とした。

例：AWE実行委員会

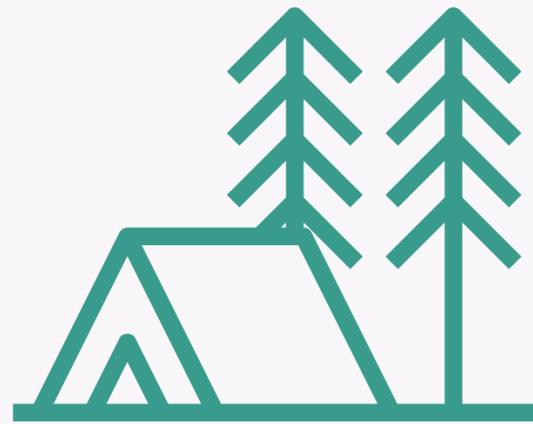
①



中心地づくり

- さとのわ活用
- 移住定住相談

②



みどりの村活用

- スポーツイベント実施
- 森林管理提案

③



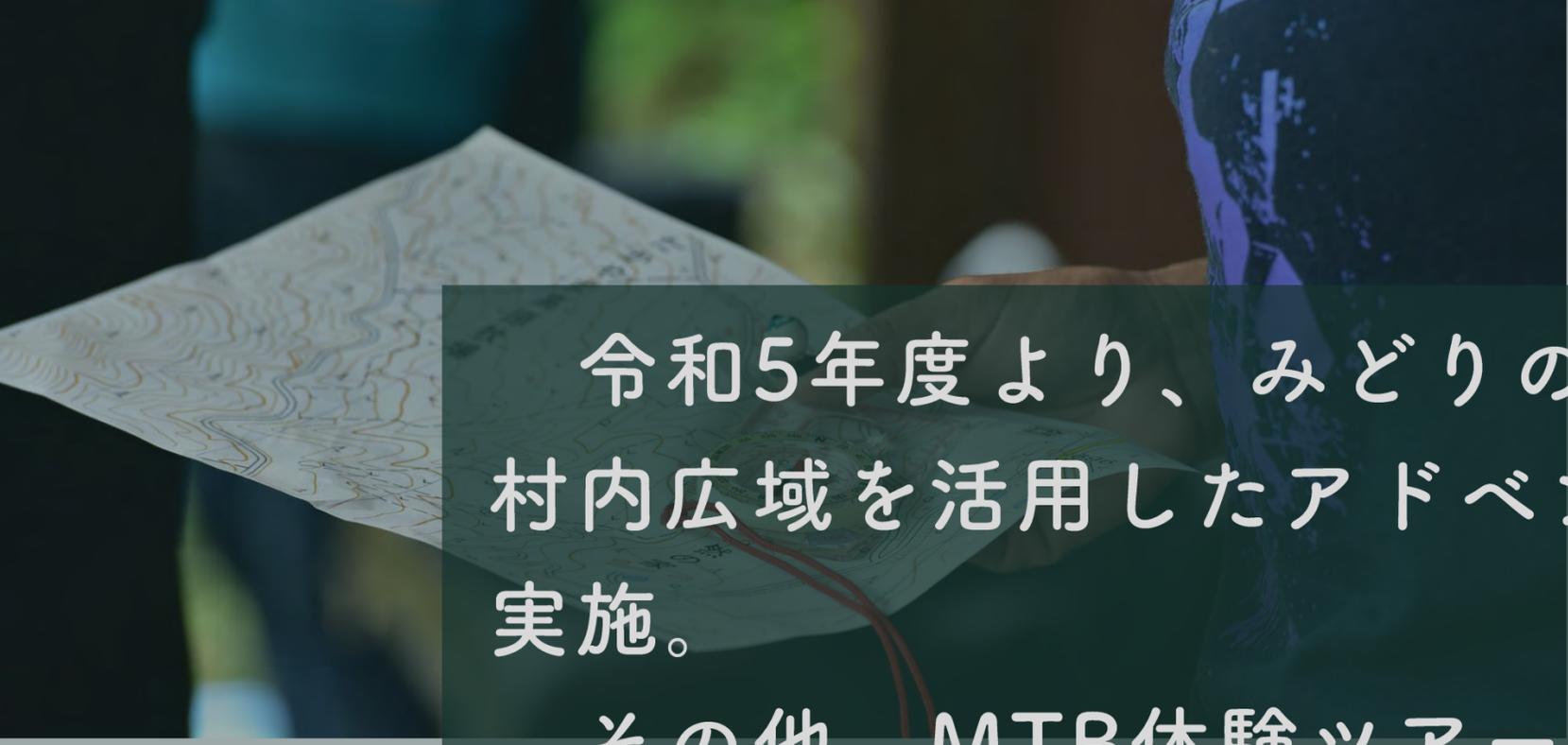
農業振興支援

- 農業体験
- 事業者誘致
- (さとのわ支援)

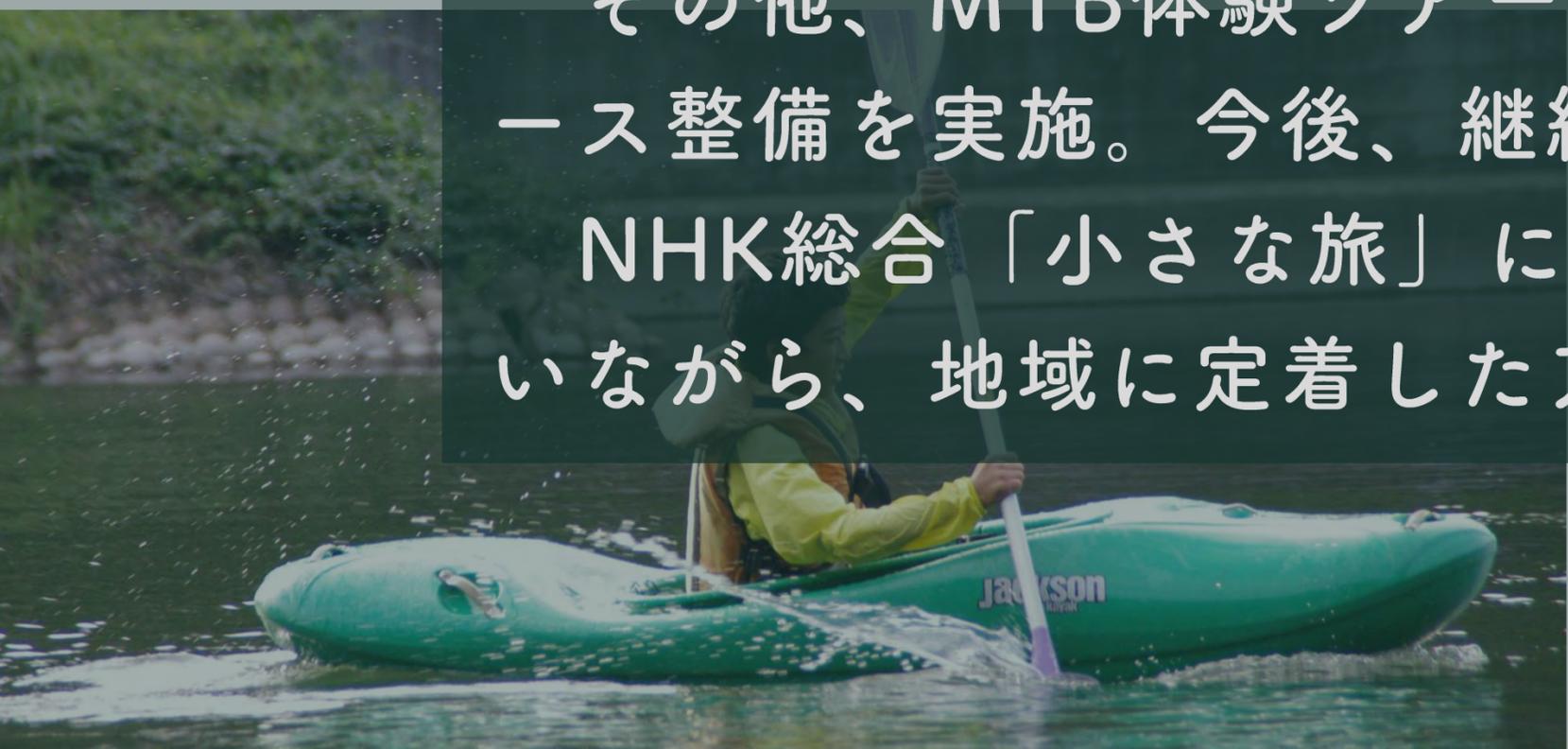
令和4年度の開業に向けて、施設内のディスプレイやオペレーション構築を支援。開業後は立ち上げ間もないフードファクトリーの経営開始に関する支援業務に従事。現在に至る方針の策定を行った。

令和5年度以降は、施設活用の観点で引き続きさとのわに関与。移住相談や就農相談、事業者の進出相談に対応した。

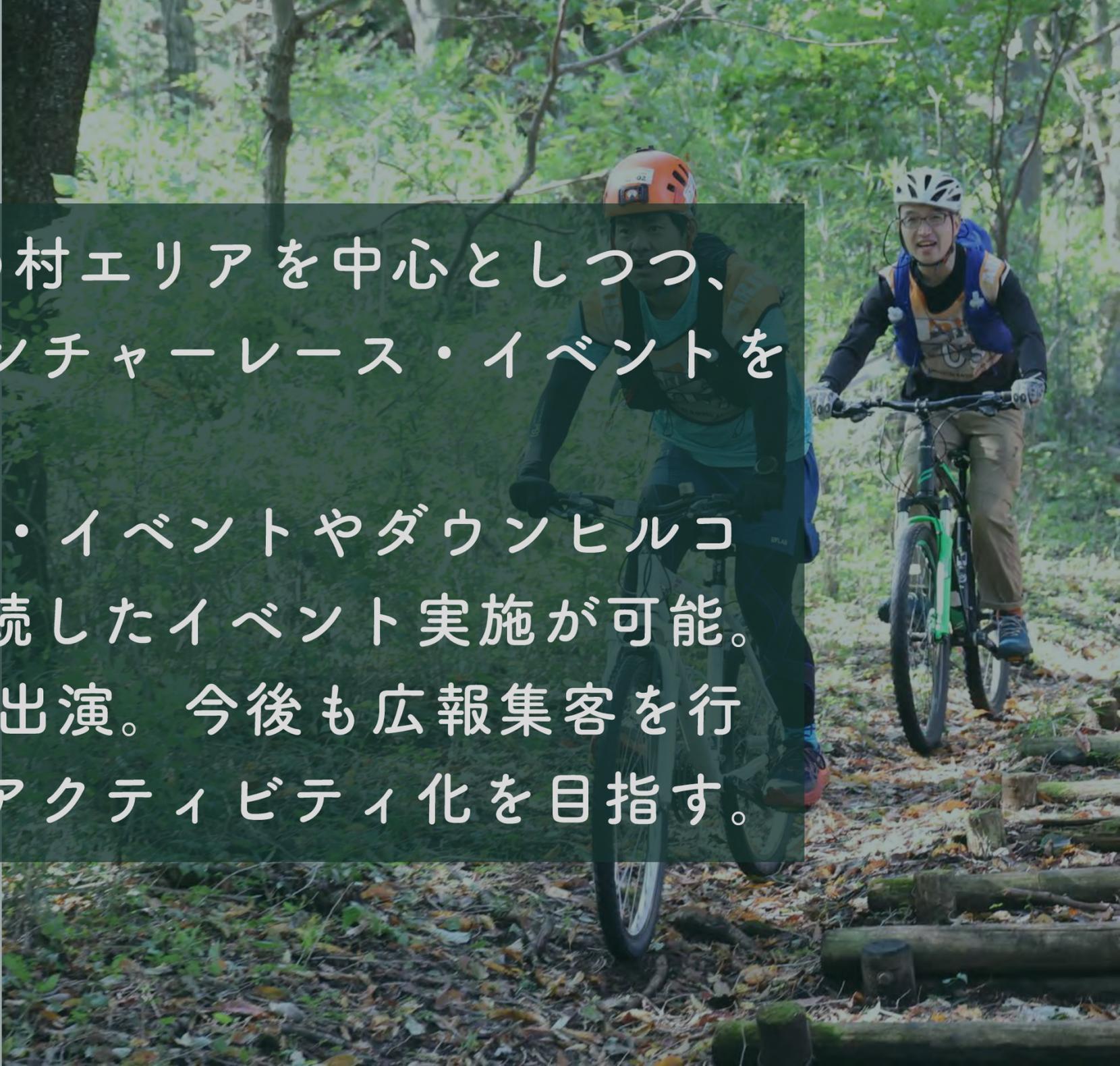
05 ②：アウトドアアクティビティ

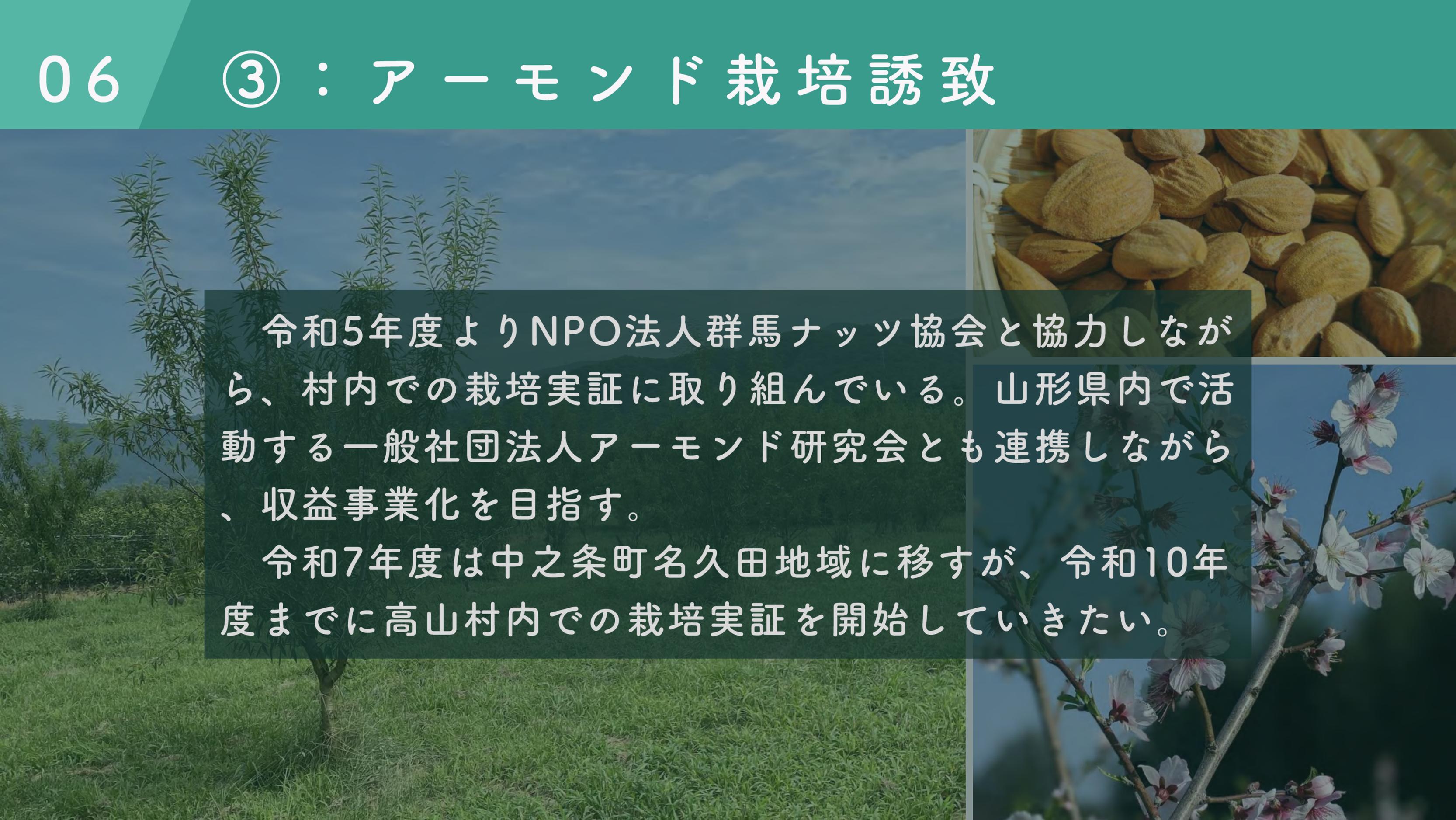


令和5年度より、みどりの村エリアを中心としつつ、村内広域を活用したアドベンチャーレース・イベントを実施。



その他、MTB体験ツアー・イベントやダウンヒルコース整備を実施。今後、継続したイベント実施が可能。NHK総合「小さな旅」に出演。今後も広報集客を行いながら、地域に定着したアクティビティ化を目指す。





令和5年度よりNPO法人群馬ナッツ協会と協力しながら、村内での栽培実証に取り組んでいる。山形県内で活動する一般社団法人アーモンド研究会とも連携しながら、収益事業化を目指す。

令和7年度は中之条町名久田地域に移すが、令和10年度までに高山村内での栽培実証を開始していきたい。

ミッション

引き続き村に関わり、村へインパクトを与える

具体的目標

- ① 行政と地域とをつなぐ“ハブ”的な組織、団体の設立検討
- ② アーモンド栽培に関する生産団体の設立
- ③ アーモンド加工・貯蔵・流通に関する団体設立